

導入促進基本計画

1 先端設備等の導入の促進の目標

(1) 地域の人口構造、産業構造及び中小企業者の実態等

平成 27 年度国勢調査における輪之内町の人口は、9, 973 人で、その構造は、0 歳から 14 歳の若年層は 15.2%、15 歳から 64 歳までの生産年齢人口は 61.7%、65 歳以上は 23.1%となっており、少子高齢化の傾向にはあるものの、高齢化率が加速的に進んでいる状況にない。

また、同じく平成 27 年度時点の町内の産業構造は、製造業が 22.8%、同じく建設業が 22.8%、続いて卸売業、小売業が 19%、生活関連サービス業が 7.5%となっている。

また、製造業に目を向けると、その業種は、プラスチック製品製造業が 27.3%、繊維工業が 20.5%、生産用機械器具製造業が 11.4%、続いて金属製品製造業が 9.1%、電子部品・デバイス・電子回路製造業が 6.8%と続いている。

域内のほとんどが中小企業若しくは小規模事業者（資本金額が 1 億円以上の企業は 20 社：6.8%程度）で、その経営状況は、人手不足、後継者不足等の課題に直面しており、現状を放置すると域内の産業基盤が失われかねない状況である。このような中、域内の中小企業の生産性を抜本的に向上させることで、人手不足に対応した事業基盤を構築するとともに、後継者が引き継ぎたいと思えるような企業にしていくことは、喫緊の課題である。

(2) 目標

輪之内町では、中小企業等経営強化法第 49 条第 1 項の規定に基づく導入促進基本計画を策定し、本計画を町ホームページやダイレクトメールで広く周知することにより、中小企業者の先端設備等の導入を促すことで、期間中の先端設備等導入計画の目標認定件数を 10 件とする。

(3) 労働生産性に関する目標

先端設備等導入計画が認定される事業者の労働生産性（中小企業等の経営強化に関する基本方針に定めるものをいう。）が年率 3%以上向上することを目標とする。

2 先端設備等の種類

輪之内町の産業は、農業、製造業、サービス業と多岐に渡り、多様な業種が当町の経済、雇用を支えているため、これらの産業で広く事業者の生産性

向上を実現する必要がある。したがって、多様な産業の多様な設備投資を支援する観点から、本計画において対象とする設備は、中小企業等経営強化法施行規則第7条第1項に定める先端設備等全てとする。

3 先端設備等の導入の促進に関する事項

(1) 対象地域

輪之内町は、濃尾平野の南西に位置する標高平均2.5mの輪中地帯であり、その地形はほぼ平地である。その中において、各企業は、町内に広く点在しているため対象地域は町内全域とする。

(2) 対象業種・事業

輪之内町の産業は、農業、製造業、サービス業と多岐に渡り、多様な業種・事業が当町の経済、雇用を支えているため、これらの産業で広く事業者の生産性向上を実現する必要がある。

したがって、多様な産業の多様な設備投資を支援する観点から、本計画において対象とする業種は、全業種とする。

生産性向上に向けた事業者の取組は、新商品の開発、自動化の推進、IT導入による業務効率化、省エネの推進等、多様である。

したがって、本計画においては、労働生産性が年率3%以上に資すると見込まれる事業であれば、幅広い事業を対象とする。

4 計画期間

(1) 導入促進基本計画の計画期間

国が同意した日から5年間とする。

(2) 先端設備等導入計画の計画期間

3年間、4年間又は5年間とする。

5 先端設備等の導入の促進に際し配慮すべき事項

人員削減を目的とした取組を先端設備等導入計画の認定の対象としない等、雇用の安定に配慮する。

公序良俗に反する取組や、反社会勢力との関係が認められるものについては先端設備等導入計画の認定の対象としない等、健全な地域経済の発展に配慮する。